



4年
伊藤和香奈さん

※この絵は、友達がおもっている大きなヘチマをかきました。色ぬりがよくできました。

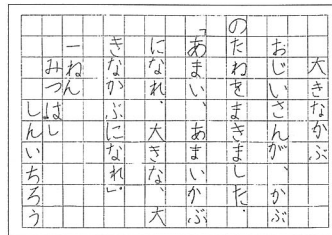


『私のヘチマ』

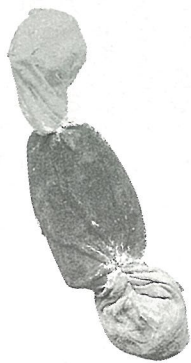


1年
三橋伸一郎くん

※「とめ」はね「はらう」に気をつけて、一字一字ていねいに書きました。



あつまれ みんなの力作



『布を固めて(だんご)』



5年
伊藤由宇司くん

※タオルを丸めて中に新聞紙を入れ、液体ねん土で固めて作りました。



2年
佐々木春奈さん

※かん字やひらがなの、「ろ」や「き」や「ら」などの形をととのえるのがむずかしかったです。



6年
橋詰 光くん

※ぼくは野球が好きです。だからボールをとった瞬間を作ってみました。

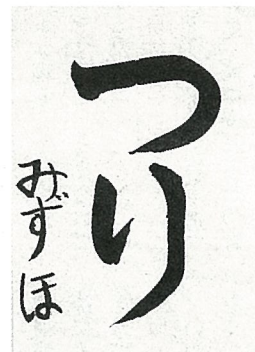


『キャッチ、その瞬間』



3年
大木 瑞穂さん

※たくさん練習したので、上手に書けるようになりました。



ひかり歌壇



伊藤 定男(尾垂)

コスモスは今を盛りに咲き乱れ
風にまかせて花の波打つ

コスモスの優雅に咲き競う情景がよく表わされている

藤代 敏子(宮内)

そこはかと新涼の気配宵闇に
初花ひとつ夕顔の咲く

丹精して育てた夕顔が初秋の涼しさをのせて咲いた時の感動が伝わってくる

越川 義則(篠本)

罌曇夕日に映えて紅はなち
君と語りし若き想い出

夕日に染まる罌曇を見ながら君と語りあった遠い思い出が懐かしい

安田 和子(作間内)

純白に咲くは乙女のはじらいか
夕べに赤く酔芙蓉の花

白から逐次変色していく酔芙蓉の特徴をうまく歌いこんでいる

水須 幸子(宮川)

みどりごはこぶしに何を隠したる
白き木槿の花こぼれゆく

白むくげの花びらが赤子の握り拳に降りかかる

鈴木甲子幸

評者詠
三百年経しとふ祠解き壊し
梁に記さる墨痕残る